

郡山市

# 革新懇 ニュース

236

発行：郡山市革新懇事務局 Mail: ugp25200@nifty.com



5月3日 10時より郡山市中央公民館多目的ホールにて第43回「憲法を考える郡山市民のつどい」が開催され、元文部科学省事務次官で現在は自主夜間中学開校等の様々な活動を行なわれている現代教育行政研究会代表の前川喜平さんにオンラインでご登壇頂きました。講演の冒頭で「憲法改正よりも憲法実現が必要、改憲勢力は参議院選挙後に一気に改憲論議を進めてくる」と危機的情勢について触れ、自民党の改憲4項目は「1945年のディストピアに戻そう」とするもの等とご講演いただきました。

5月3日 第43回「憲法を考える郡山市民のつどい」に120名参加  
憲法を変えようとする？ 私たちの未来と教育の未来



郡山市革新懇ホームページ

<http://hometown.my.coocan.jp/kooriya>

makakushinkon/



郡山地区集会ではメーデースローガン「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のもとに「ロシアのウクライナ侵略反対！ただちに撤退せよ！」「新型コロナの影響から、いのちとくらし、雇用と営業を守る」等の6つのメインスローガンと21の要求スローガンを掲げました。また、12の各界決議が採択されました。郡山市革新懇の決議「ロシアのウクライナへの軍事侵略を糾弾する平和憲法の改憲を許さず、憲法九条を生かした世界と日本の平和の流れを強める」の全文は郡山市革新懇のホームページでご覧いただけます。

第93回メーデー郡山地区集会、デモ行進が行われました

5月1日 10時より郡山駅西口駅前広場で集会が開催され、メーデー宣言と12の各界決議が採択されました。



革新・野党分断は

戦争法とやってくる

2003年、「有事法制」が成立する前、郡山革新懇は市民への共同アピールを出しました。郡山の文化人を中心に思想信条立場の違いを超えてボスターにも登場してもらいました。

「共産党を除く」が合言葉のように喧伝され、反共攻撃が強く持ち込まれ、革新分断攻撃がされているさなかでした。この取り組みは、故太田緑子さんを中心にあらゆる立場の人たちが呼びかけ人となった「郡山市九条の会」、前県知事佐藤栄佐久さんを顧問に結成された原発廃炉の会、また、沖縄と連帯する郡山の会など戦争は絶対に許さない、暮らし、民主主義を守る一点で市民の共同が作られてきました。

有事法制から安保法制、そして、集団的自衛権、敵基地攻撃とますますエスカレートする政治勢力に対して、市民と野党共闘で政治を変える、社会進歩をはかる底力が作られてきていると思います。7月の参議院選を前に、また反共攻撃を持ち出し革新共闘分断が試みられていますが、それはもう成功させない革新懇運動の前進をつくりましょう。(菅原)



(2002年郡山市革新懇作成ポスター)

原発問題連続学習会ブックレット¥300/冊 申込みは郡山市革新懇へ  
2021年9月11日の柴崎教授のご講演他をテキスト化  
「汚染水海洋放出問題の背景：福島第一原発の地質と地下水」他

郡山市革新懇 2022年度会員募集中 年会費 3000円  
(全国革新懇ニュース/福島県革新懇ニュース年間購読料含む)  
※お近くの革新懇事務局員へお申し込みください。